

# 広島県西部東保健所管内(竹原市、東広島市、大崎上島町)の感染症の流行情報

1 【最新】令和7年第31週(7月28日～8月3日)

No.	疾患名	西部東保健所管内					広島県	警報・注意報発令基準		
		第28週	第29週	第30週	第31週		第31週	警報		
		(7/7～7/13)	(7/14～7/20)	(7/21～7/27)	(7/28～8/3)		(7/28～8/3)	開始基準値	継続基準値	開始基準値
		定点当たり		定点当たり	報告数	定点当たり				
1	急性呼吸器感染症(ARI)	62.38	54.38	60.25	67.75	542	45.77			
2	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	0.25	0.13	0.00	0.25	2	0.08	30	10	10
3	新型コロナウイルス感染症	1.50	1.88	2.25	6.13	49	4.04	13	8	8
4	RSウイルス	0.40	0.60	0.00	0.20	1	0.26			
5	咽頭結膜熱	2.40	2.00	2.00	1.20	6	0.40	3	1	-
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.40	4.80	3.40	3.40	17	1.79	8	4	-
7	感染性胃腸炎	9.40	8.00	10.20	9.00	45	4.71	20	12	-
8	水痘	0.40	0.20	0.40	0.20	1	0.12	2	1	1
9	手足口病	0.40	1.00	1.80	1.80	9	0.64	5	2	-
10	伝染性紅斑	3.40	2.60	5.00	4.80	24	2.21	2	1	-
11	突発性発疹	1.00	0.00	0.20	0.00	0	0.29			
12	ヘルパンギーナ	0.40	2.20	3.60	3.40	17	1.52	6	2	-
13	流行性耳下腺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.02	6	2	3
14	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00	1	0.1	-
15	流行性角結膜炎	0.00	0.50	0.50	0.50	1	0.53	8	4	-
16	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00			
17	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.10			
18	マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.90			
19	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00			
20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00			

## 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症管内発生状況

類別	疾患名	県内報告数	管内報告数
一類	発生なし	0	0
二類	結核	11	1
三類	腸管出血性大腸菌感染症	4	0
四類	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1	0
	日本紅斑熱	2	0
五類	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0
	梅毒	11	0
	麻しん	1	0
	百日咳	169	59

### ● 西部東地域の情報 (第31週)

#### ○ 県内の警報発令状況 ○

・伝染性紅斑警報(R7.5.22～)

#### ○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意しましょう ○

○ 感染経路

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、接触感染・飛沫感染で感染が広がります。

○ 症状

・2～5日の潜伏期間の後、突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などの症状が現れます。しばしば嘔吐を伴います。  
・熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。

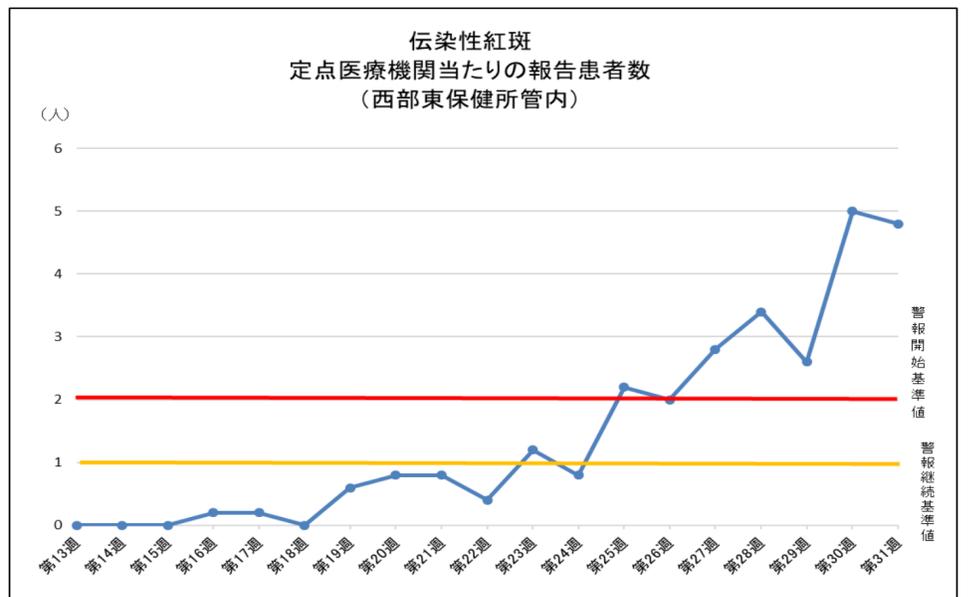
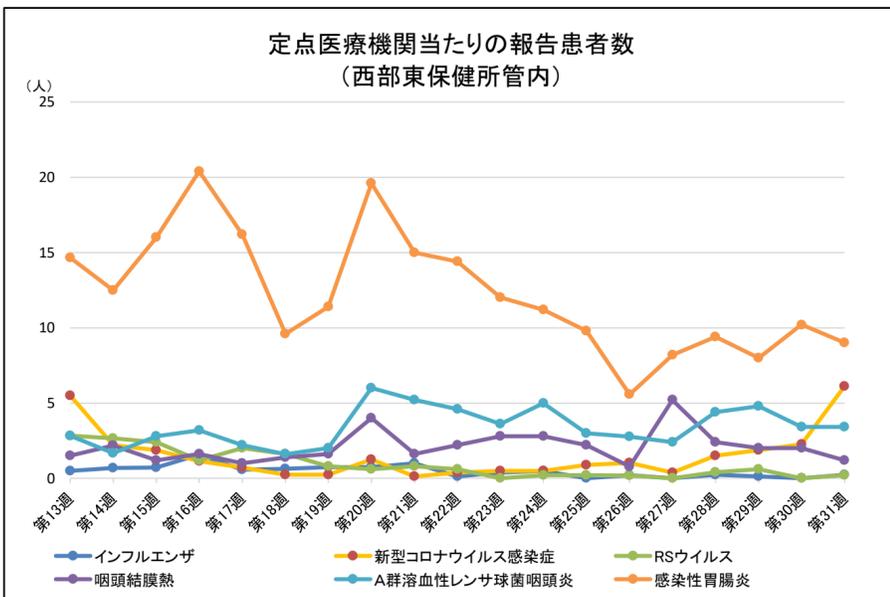
○ 予防方法

・患者との濃厚な接触は避け、「うがい」、「手洗い」を励行することが大切です。  
・感染性は急性期にもっとも強く、その後徐々に減弱します。急性期の感染率については兄弟姉妹での間が最も高率で、25%と報告されています。

○ 西部東保健所管内の状況

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について、県内の警報は解除されましたが、西部東保健所管内は依然として定点医療機関当たりの報告患者数が多い状況です。

## 3 管内の流行状況



※「定点当たり患者報告数」とは、広島県が指定した医療機関(定点医療機関)から1週間ごとに報告される患者数を、定点医療機関数(西部東保健所:10)で割った値の事です。